

令和5年度 第2回博物館協議会 (会議録)

日 時 令和5年9月29日(金) 午後1時30分～2時30分

場 所 安城市歴史博物館2階講座室

出席委員 高山 忠士 会長

加藤りせ子 副会長

松永 博司

荒井 信貴

市川とし子

平岩 政志

事務局 邨澤 英夫 文化振興課長

片岡 晃 安城市歴史博物館館長

野上真由美 学芸係長

西島 庸介 専門主査

千田 佑香 主事

本部はる香 主事補

井上宗一郎 指定管理者

安祥文化のさと地域運営共同体総括責任者

石川 明良 指定管理者

安祥文化のさと地域運営共同体取締役部長

次 第

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 令和5年度開催済事業報告

(2) 令和5年度下半期事業(案)

(3) 令和6年度事業計画

3 その他

今後の日程

・合同研修 令和5年11月8日(水) 静岡県静岡市

聖徳太子絵伝修復状況確認等

・第3回 令和6年1月26日(金) 午後1時30分から 予定

協議事項

(1) 令和5年度開催済事業報告

事務局	【令和5年度開催済事業報告について説明】
指定管理者	【令和5年度開催済事業報告について説明】
会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願いします。
委員	質問ではありませんが、特別展「安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏」は本当にいい資料を借用されていたと思います。ただ、大名系の展覧会をするときには展示室の面積に対して資料数が多く、より狭さが気になるので、全体としてもっと事前に計画性をもってギャラリーを借用するなどを考えられた方がいいと思います。展示室の中で子供たちがクイズをするなど、取り組めるような環境を作らないといけないということをしつかりと考える必要があります。借用資料点数を部屋の規模に合わせるか、点数に合わせた部屋を確保するかの調整が必要だと思います。また、岡崎市内の私の周りの人たちの中でも、企画展「安城の今昔4 はかり図」は非常に分かりやすく良かったという声が多かったです。最初のとっかかりとしては非常に分かりやすい展示だったと思います。次の特別展「安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏」は大河ドラマを意識した展覧会でもありもう少し人数が入ると思っていました。しかし、NHKとの連携も難しい部分があります。例えば岡崎市では、講演会に大河ドラマの時代考証の先生を2人お招きすることで話題性をもった講師選定を行っていました。歴史博物館で実施する講演会については学術的な講演会なのか、一般の方に向けた講演会なのか意識しながら講師も選ぶ、また、講師の先生にもどのようなメッセージで講演してもらうかをこちら側からお伝えすべきだと思います。
委員	特別展「安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏」の来館者について、県外と県内の割合について教えてください。
事務局	県外につきましては、近隣の岐阜県、静岡県が最も多く、関東の方、関西の方からも来ていただいています。詳しい数字は持ち合わせていませんが、ある程度遠くの所からも来ていただいています。西三河ですと、岡崎市が最も多く、碧海5市はまんべんなく来ていただ

	<p>いている印象を受けました。また、尾張方面からもいらっしやっいて、新聞記事などを見て興味をもっていた方が多いということを知っています。</p>
委員	<p>親子連れがたくさんいて、お父さんがお子さんにいろいろと説明されてるほほえましい光景が見られるなど、様々な人が来館していると思いました。特別展「安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏」に訪れた人はきっと特別展「安城譜代2 三河本多一族」も観覧されると思うので多くの方に見てもらえると思いました。</p>
委員	<p>岡崎市美術博物館のNHK大河ドラマ特別展「どうする家康」では若い女性がものすごく多くいました。これは初めての経験で、特に中高年男性よりも20代・30代の方や、女性が2・3人で観覧されていました。岡崎市のあのスペースでも展示物が多いのか人が多いのか分からないくらい窮屈に感じました。岡崎市民は半額などの割引もされていて人が多く来ているようでした。</p> <p>我々ボランティア団体のメンバーが安城城や本證寺でガイドしている際には、特別展「安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏」や特別展「家康と一向一揆」の時も博物館で展示をやっているので行ってくださいと声を大にして言ってきました。ガイドの受付でもガイドを聞かれる方は、岡崎市など近隣市町村が圧倒的に多いのですが、県外の方も増えており、わりに遠いところからくるようになったと思いました。</p> <p>今回の特別展「安城譜代1 家康の支柱 酒井氏」もこれまでの展示と同様に戦国武将などに興味がある歴史に詳しい方が多いかなあという感想です。観覧後のお客様やボランティアに聞きますと、大変良かった、勉強になった、けどもすごい人だった、出来れば中にちょっと椅子が並べてあるなど休憩できるようなスペースが欲しいという声は聞きました。令和2年度の特別展「家康と松平一族」の時のようにギャラリーの方を使えばいいと思うのですが、市民ギャラリーは資料を展示することに関して制限はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>現に令和2年度の特別展「家康と松平一族」ではお借りしています。ギャラリーの利用は1年半前から予約開始ですので、展覧会の企画するタイミングよりも先に会場に予約が入っていることも多</p>

	<p>く、特に1階のA・B・C室は非常に人気がありますので、難しい部分があります。</p>
委員	<p>常設展のボランティアについてですが、大河ドラマどうする家康ボランティアメンバーの全体集会があり、そこで、歴史博物館が常設展のボランティアを募集しているので是非応募して欲しいと話がありました。興味を示した方もいましたが、博物館ボランティアが実施している小学生への展示解説は大人以上に正確に説明しないといけないので難しく、しっかり講習しないといけないと感じました。博物館ボランティアのメンバーもほとんど知っていますが、総じて高齢の方が多いです。家康ボランティアの中で興味を示していたのは40代・50代の方の特に女性の方が多かったので、展示だけの案内だけではなくてその他のお手伝いもあることや、小学生に説明をするので、しっかりやらないとだめなんだよということをお伝えしました。</p>
委員	<p>指定管理者の事業「一日子供学芸員体験」のような取り組みはすごく良いと思いました。子供がすごく興味を持って、いろいろ博物館について学ぶことができるんじゃないかと思います。イベントのマイクラフトで安城歴史博物館を作ろうでは、何回も博物館に来て作りこむなど、子供も楽しんで参加していました。しかし、投票の仕組みや、応募作品の掲示方法が一部改善してほしい部分がありました。</p>
指定管理者	<p>展示の方法やインスタグラムの投票などは、今回は手探りの状態でやっているため、次回開催する際には、広く参加できるような形を取りたいと思います。</p>
委員	<p>今回は、酒井展と本多展のセット券を受付の方に説明を聞いて買いました。セット券については様々な特典があるのでもっとうまく宣伝できたらと思いました。また、セット券の割引がきっかけで、ぷらす珈琲店の来店を促し、コラボメニューを頼むといたこともあるとと思います。コラボメニューの遊び心や工夫もおもしろく、SNSで話題にされていました。講演の先生もSNSで話題にすることで、広がることもあると思いました。</p> <p>博物館は研究もしっかりするという場所なので、その成果をコアなファン、研究者も含めて展示として見ていただきたいとも思いま</p>

	<p>した。例えば、過去の特別展「戦争の中に生きる」では元市長の岩月修二さん戦争体験をギャラリーで展示し、歴史資料の展示は歴史博物館でやっていました。このような連携ができるといいなと感じました。</p> <p>そして学校教育の立場としては、自由研究相談会は自分の中では生徒が博物館を活用していると思いました。また、見学学習に参加した子たちに今回の常設展の説明について感想を聞いたところ、「とてもわかりやすかった」という感想を聞きました。常設展を担当した先生方には感謝をしたいです。</p> <p>今年の夏は社会科指導教員で3年ぶりに本證寺に巡見に出ました。本證寺では先生とボランティアの方と繋がりができました。学校の教員も教材研究のネタは欲しています。なかなか学校が抱えている問題と展示するもののタイミングが合うことは少ないのですが、社会科部としても色々とアプローチしながら、活動していきます。こうした中で博物館の活動とうまく繋がればと思います。</p>
会長	博物館実習で受け入れ人数が12人は少し多いのではないかと思います。特に展示替えの実習までやられるので、その後のフォローを考えると、今後は人数を制限したほうがいいと感じました。
事務局	今の博物館実習の件ですが、確か今年度、周辺市町村で受け入れが難しかったところがあり、そのため人数が多くなっています。
委員	今年は改修工事などで博物館実習の受け入れをしていない館が多くありました。岡崎市美術博物館では各大学1人など制限を設けています。
事務局	今回事後に反省をしたところ、10人を超えると当館のキャパシティでは難しいということになりましたので、次回の募集では、卒業論文の内容がこちらに合致しているという学生を優先的に、選考して10名以内という形でやっていきたいと考えています。
委員	今回は、安城出身の方がほとんどいませんでした。安城市民を優先にするなど、地域主体にしていくのも大事だと思いました。

(2) 令和5年度下半期事業（案）

事務局	【令和5年度下半期事業（案）について説明】
-----	-----------------------

指定管理者	【令和5年度下半期事業（案）について説明】
会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願いします。
委員	意見ですが、家康ガイドのメンバー40名は、スキルアップのために本を買ったり、展示会を観に行くなど勉強してみえます。よく会員の方から言われるのですが、家康ガイドは博物館の特別展を無料で見られるようにしてほしいです。家康ガイドの会はボランティアですので、次の企画展「家康と三河の城」や本多展などは、何とか無料で見るようにお願いできないかというところが、家康ガイドの会員としての意見です。
委員	先週の土曜日に豊橋で吉田城主酒井忠次のシンポジウムがありました。そのシンポジウムの会場で指定管理の方が本多展の宣伝チラシをずっと配っており、積極的に博物館の運営に関わっているんだなということを実感いたしました。チラシ配りやSNSでの地道な発信にどれだけ労を使うかみたいところが大事だと思いました。 豊橋のシンポジウムでは、大河ドラマと結び付けて話をすすめていました。ドラマで歴史に興味を持った人を博物館にも興味を持ってもらえるようにした方がいいと思いました。
会長	特別展「安城譜代2 三河本多一族」の図録についてですが、展示が開かれた時点では出てないというのは、気になります。予め、日程は決まってるわけなので、それに対応してタイムスケジュールを組んでいく、計画的な取り組みが必要だと思います。今年のような展示の組み方だとそれこそ、学芸員のオーバーワークでかろうじて支えられているのが、伺えてしまいます。その点少し余裕を持てると次に向けての構想も含めての見通しが立てられるんじゃないかと思いますので、是非、来期はよろしくお願いします。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。図録の件については、本当に申し訳なく思っております。学芸係の方、実は今、1名病休で職員が抜けておりまして、その分仕事を分担しており、実際に動ける職員の数が減ってしまったというのが現状でございます。学芸員の資質向上と健康の維持も考えまして、今後、いただいたご意見も踏まえ内部で検討してまいりますのでよろしくお願いします。

委員	<p>今期の特別展「昭和の家族」は、安城歴史博物館として、歴史と民俗を中心にやっていただきたい。美術の世界では、博物館で展覧会をやったということで作品の値段に関係してきます。歴史博物館として、歴史、民俗学的な背景をしっかりと学芸員が勉強されて、位置付けをきちんとしておいていただけるといいと思います。</p>
----	--

(2) 令和6年度事業計画

事務局	【令和6年度事業計画について説明】
委員	<p>災害展は1月上旬に終了する予定ですが、もう少し期間を延ばすのはどうでしょうか。三河地震をメディアが取り上げやすい時期に開催していた方がPRできるのではないかと思います。学校教育とも連携していけると良いと思いました。</p> <p>2, 3年後にWi-Fi環境の整備ができるのであれば、見学学習用のアプリの開発を学校側とも連携してできると良いと思います。</p>
委員	<p>ポケット学芸員というアプリがありますよね。碧南市藤井達吉美術館や刈谷市歴史博物館も入っています。個人のスマートフォンを持って行って解説を聞くことができるので、安城市歴史博物館も導入できると良いと思います。</p>
委員	<p>ポケット学芸員ってロイヤリティかなんかいるんですか。</p>
事務局	<p>います。年間費がかかります。</p>
委員	<p>市川先生が言われたように自分も、安城市も入らないのかなと思っていました。</p>
委員	<p>結構たくさん導入しているところがありますね。</p>
委員	<p>令和6年度の特別展「ゴロゴロまるまるねこづくし」等、展示協力展は公共機関なので、特定の業者が続かないように学芸員がもっと情報収集して、どんな企画が巡回しているか気を付けてほしいです。</p>
会長	<p>審議ありがとうございました。</p>

3 その他

(1) 今後の日程

事務局	<p>博物館協議会と文化財保護委員会の合同研修会は、担当が文化財係になります。令和5年11月8日水曜日、場所は静岡県静岡市を予定しています。現在、本證寺蔵の聖徳太子絵伝の修復をしておりますので、状況確認と新しくできた静岡市博物館を見ていただく予定です。これにつきましては、改めて文化財係の事務局の方から通知の方をお送りします。第3回博物館協議会は令和6年1月26日（金）午後1時半から開催する予定です。詳細は改めて通知いたします。よろしくお願いいたします。</p>
-----	--